

## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月6日

上場会社名 株式会社 エコミック  
 コード番号 3802 URL <http://www.ecomic.jp>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 熊谷 浩二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 荒谷 努

TEL 011-206-1103

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	386	5.2	18		15		5	
2018年3月期第2四半期	367	3.4	36		32		18	

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 9百万円 ( %) 2018年3月期第2四半期 13百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	3.59	
2018年3月期第2四半期	11.63	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	625	546	87.0	339.37
2018年3月期	630	568	89.8	353.00

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 544百万円 2018年3月期 566百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		8.00	8.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,009	4.0	81	20.8	81	11.4	57	2.8	35.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	1,603,800 株	2018年3月期	1,603,800 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	株	2018年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	1,603,800 株	2018年3月期2Q	1,602,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しにより、緩やかに回復しております。今後も雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くと見られます。しかし一方で、少子高齢化・人口減少が進む中で、人材不足を克服し持続的な経済成長につなげるためには、働き方改革に伴う多様な人材の労働参加を図ることや、AI及びRPA等の導入などにより生産性の向上を図ることが大きな課題とされています。また、相次いでいる自然災害の経済に与える影響に十分留意する必要があります。

当業界におきましては、この様な緩やかな景気回復基調、人材不足及び働き方改革等を背景に、引き続き企業の効率化、省力化への動向が継続しており、今後も事業再構築の手段としてアウトソーシングのニーズは高まっていくと考えております。

そこで当社グループは、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対し給与計算に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業の生産性向上の観点から、アウトソーシングサービスの提案を行い、あらゆる企業から管理部門のルーティンワークを無くすべく付加価値の高いサービスの提供を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は386,267千円(前年同四半期比5.2%増)、営業損失は18,273千円(前年同四半期は営業損失36,764千円)、経常損失は15,224千円(前年同四半期は経常損失32,462千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は5,759千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失18,639千円)となりました。

当社グループはペイロール事業の単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント区分を行なっておりません。この単一セグメントであるペイロール事業の経営成績は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間については、前連結会計年度に引き続き既存顧客との関係強化及び積極的な営業活動に取り組んでまいりました。売上高については前年同四半期に比べ、新規顧客の受注が進んだこと及び勤怠・人事システムの受注増加などにより、売上高は386,267千円(前年同四半期比5.2%増)となりました。利益につきましては、作業の標準化や子会社への業務委託等により効率化を進めた結果、前年同四半期に比べ売上総利益率は7.6ポイント上昇し、営業損失18,273千円(前年同四半期は営業損失36,764千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は470,428千円となり、前連結会計年度末に比べ14,331千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が35,425千円増加した一方、売掛金が46,011千円減少したことによるものであります。固定資産は154,985千円となり、前連結会計年度末に比べ9,030千円増加いたしました。これは主に四半期純損失計上により繰延税金資産が10,495千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は625,413千円となり、前連結会計年度末に比べ5,301千円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は77,543千円となり、前連結会計年度末に比べ17,593千円増加いたしました。これは主に年末調整システムの改修等により未払金が14,039千円増加したことによるものであります。固定負債は1,238千円となり、前連結会計年度末に比べ1,042千円減少いたしました。

この結果、負債合計は78,782千円となり、前連結会計年度末に比べ16,551千円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は546,631千円となり、前連結会計年度末に比べ21,852千円減少いたしました。これは主に四半期純損失の計上及び利益剰余金の配当12,830千円により利益剰余金が18,589千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は87.0%(前連結会計年度末は89.8%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月10日に発表いたしました2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	346,232	381,658
売掛金	122,216	76,205
為替予約	1,280	—
その他	15,031	12,565
流動資産合計	484,760	470,428
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	17,750	15,903
その他(純額)	8,867	10,828
有形固定資産合計	26,617	26,731
無形固定資産		
ソフトウェア	81,500	80,965
無形固定資産合計	81,500	80,965
投資その他の資産		
投資有価証券	10,616	9,204
繰延税金資産	—	10,495
敷金及び保証金	27,209	27,328
その他	10	258
投資その他の資産合計	37,836	47,287
固定資産合計	145,954	154,985
資産合計	630,715	625,413
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,459	19,222
未払金	5,121	19,161
為替予約	—	1,274
未払法人税等	9,317	9,328
その他	33,051	28,556
流動負債合計	59,949	77,543
固定負債		
繰延税金負債	2,281	1,238
固定負債合計	2,281	1,238
負債合計	62,230	78,782

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	247,710	247,710
資本剰余金	82,686	82,686
利益剰余金	230,350	211,760
株主資本合計	560,748	542,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,614	4,591
為替換算調整勘定	△222	△2,462
その他の包括利益累計額合計	5,391	2,128
新株予約権	2,345	2,345
非支配株主持分	—	—
純資産合計	568,484	546,631
負債純資産合計	630,715	625,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	367,164	386,267
売上原価	293,428	279,367
売上総利益	73,735	106,900
販売費及び一般管理費	110,500	125,173
営業損失(△)	△36,764	△18,273
営業外収益		
受取利息	95	199
助成金収入	2,403	2,769
その他	1,803	1,183
営業外収益合計	4,302	4,152
営業外費用		
為替差損	—	1,103
営業外費用合計	—	1,103
経常損失(△)	△32,462	△15,224
特別利益		
投資有価証券売却益	4,999	—
特別利益合計	4,999	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△27,462	△15,224
法人税等	△8,823	△9,465
四半期純損失(△)	△18,639	△5,759
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,639	△5,759

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純損失(△)	△18,639	△5,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,489	△1,022
為替換算調整勘定	2,565	△2,240
その他の包括利益合計	5,054	△3,262
四半期包括利益	△13,584	△9,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,584	△9,022
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△27,462	△15,224
減価償却費	19,930	18,835
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,999	—
売上債権の増減額(△は増加)	△775	44,831
営業債務の増減額(△は減少)	1,328	6,763
未払金の増減額(△は減少)	△6,021	1,094
その他	△17,081	△7,601
小計	△35,080	48,699
法人税等の支払額	△12,796	△981
法人税等の還付額	—	529
その他	105	230
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47,771	48,476
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,788	△2,942
無形固定資産の取得による支出	△5,258	△1,656
投資有価証券の売却による収入	5,000	—
定期預金の預入による支出	—	△10,000
敷金及び保証金の差入による支出	△7,216	△1,965
敷金及び保証金の回収による収入	2,357	5,675
その他の収入	—	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,906	△10,870
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△12,860	△12,582
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,860	△12,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,954	401
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△66,584	25,425
現金及び現金同等物の期首残高	385,737	346,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	319,152	371,658

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。